

〔増鏡新島守〕さてかの維時が名残は、ひたすらに民となりて、平四郎時政といふ者のみぞ、伊豆の國北條のこほりとかやにあめる。

〔郡名考〕伊豆略中 君澤クニサハ

〔増訂豆州志稿〕郡郷

君澤郡 郷名載村六拾六増町一、村六十一、此郡ハ田方郡ヲ割テ入ル小濱池ヨリ流出ル水ヲ廣瀬ト云下流數派トナル、其一ノ小溝ヲ君澤ト云、是郡名ノ起ナリ、或云鎌倉ノ頃郡宅郷ト云アリ、古文

書ニ見ユ、増三島大社貞和、觀延文等文書、郡宅此ニ始ルト、本君澤莊ト云フ數村ノ莊號ナルガ、

次第ニ廣リ、元祿ノ頃ニ至リ、五拾餘村トナル、増天正十八年諸村檢地帳、君澤郡ノ稱アルヲ思フ、

而ナラズ、同年度御齒村檢地帳ニ田方郡、久料村帳高田郡ト記シ、マタ同年中島村益同十九年中村

而文祿三年塚本村那村等ノ帳ニ、君澤郡ト記シ、其他一村ニシテ、一ハ田方一ハ君澤ノ記載アリ、

ナリナドヲ知ルテ、其錯雜 同十四年御代官小長谷氏ノ時、川原谷、冢原北澤、大場、市野山、山中、谷田、中村

多呂三谷、竹倉、中島、篠原ノ拾三村、君澤郡タル可キノ令アリテ郡始テ定マル、増此時令アラレシ

ナリ、國郡沿革考曰、君澤莊戰國ノ時、既ニ郡トナル、故ニ正保圖之ヲ載ス、寛文中復古ノ時之ヲ停

ス、元祿十四年ニ至リ、再ビ此郡名ヲ置シナリ、而シテ正保圖既ニ六十八村アリ、元祿ノ時六十九

村アリ、大抵今ノ地ニ同シトアル、其停廢再置ヲ云ルハ臆測ノ説ナリ、現今本郡ノ區域幅員、東山

脈川流ヲ以テ田方郡ニ界シト、北箱根山脈及川流ヲ以テ相模、駿河ニ界、南山脈ヲ以テ那賀郡ニ界

シ、西面ハ海ニ枕ス、中略、東西二里、南北七里、

〔明治十三年〕東京地學協會報告〕國郡沿革考第二回

伊豆 塚本明毅

伊豆三郡、後世分テ君澤郡ヲ置キ、郡境盡ク變遷セリ、和名抄田方郡十三郷中、小河カガ三島エ依馬江

村ア天野ス村存吉キ妻チ木真キ村及鏡作五郷ノ地、今君澤郡トナリ、久寢ク豆山トヨリ宇佐美ニ至ル諸村、

直見タ蓋熱海ハ有辨ハ東方三郡ハ、加茂郡ニ入ル、君澤郡ハ、伊豆志稿云、鎌倉以後君澤庄アリ、元

祿十四年、代官小長谷氏ノ時、川原谷、塚原等十八村ヲ以テ君澤郡トス、按ズルニ、君澤庄戰國ノ